

考え方が近いと思い合った4人で新会派を結成しました。
中道の是々非々路線を歩み、執行部に対して、人間関係のしがらみ
などがない新鮮な仲間としっかり物申していきます！

市民クラブ未来 蓮田市議会報告 2023.7月号 Vol.1



会派代表

菊池 よしひと

蓮田市大字蓮田1032-5
TEL・FAX:048-768-8381



斎藤 斉

蓮田市東1-4-21
TEL・FAX:048-768-4308



武藤 やすし

蓮田市大字黒浜3110-35
TEL・FAX:048-764-2662



副議長

はた くに お

蓮田市馬込1-350-8
TEL・FAX:048-764-0998

市民クラブ未来 会派の方針 「新しい蓮田の未来を創ります!」

4年前に発足した「市民クラブ」が「未来」という文字を冠して復活しました。

私たちは、情熱・経験・実行力を持ち、**市民の皆様が目線に立ち、市民の声を取り入れ、市民のための活動**を行ってまいります。

市の行財政の問題に正面から向き合い、問題解決のため提案・提言を行い、古い蓮田の慣習を突き破って**新しい蓮田市の未来を創ります**。そして蓮田の市政がもっとわかりやすく市民に見えるようにし、「**蓮田は変わっていくな、いい街になるな**」と皆様に実感してもらえるよう、日々活動してまいります。

武藤やすし 一般質問

6月定例会は武藤やすしにとって初めての一般質問でした。今回は①「第5次総合振興計画」について ②シティセールスについて ③PPP/PFI(民間資金等活用事業)を取り上げました。

1.第5次総合振興計画

第5次総合振興計画は今年3月に5年経過後の見直し改定が行われました。しかし時勢変化に伴う手直しのものばかりで、DXや脱炭素など大きな変化についての事業の追加変更はなされず「議会の承認を避けた各種計画などで市側で決めて実行すればいい」という姿勢が感じられます。予算概要説明との違いなど私なりの疑問に関し質疑を行いました。

質問

- 今後5年間の社会環境の変化をどのように計画に織り込んでいくのか。
- 総合振興計画が最上位計画とする一方で各種計画は議会との議論なく進められているがいかげんなものか。策定後に全員協議会等で説明したらどうか。
- 3ヵ年実施計画の事業費額と予算の概要説明における事業費額が異なる。説明が不十分ではないか。

答弁

- 本計画のさらなる改定は行わないが、社会環境等の変化や対応について3ヵ年実施計画前文で述べることは来年度以降考えていきたい。
- 各種計画を策定前に議会に説明することは考えていない。
- 予算段階で3ヵ年実施計画にない新たな事業が加えられるものがある。実施計画との違いを説明することについては来年度予算の時に検討したい。

【今後に向けて】

予算編成段階で実施計画にない種々の案件が付加されていくことへの整合ある説明を求めるとともに、社会経済環境の変化に機敏に対応した総合振興計画の運用(優先順位の考え方を含め)を行うよう当局に働きかけていきます。

初めての一般質問に臨みました。

まずは非常に理解しづらい「予算案の概要」を取り上げましたが、逆に「質問がわかりにくい」などのヤジもあり、やや空回りに終わった感じ。

2.蓮田市のシティセールス

蓮田市のシティセールスは他市と違って総合的な実行計画もなく出たとこ勝負の活動になっています。また活動の数字的ゴールも設定されていません。今回は現在のシティセールス活動の問題点を浮き彫りにすることを主眼に質問を行いました。

質問

1. シティセールスのターゲットとゴールは。
2. 数字でのゴール設定を含むシティセールスの総合計画を策定して活動を進めるべきではないか。
3. 蓮田市キャッチコピー（とかいなかNo.1）の浸透・活用策は。

答弁

1. 施策対象は蓮田市民・他市の方々全て。活動のゴールは振興計画蓮田市の将来理想。
2. 数字のゴールは令和9年の将来人口60,600人。現在総合計画を作ることは考えていないが将来的に策定が必要になるかもしれない。
3. キャッチコピーの浸透度は十分でないと感じている。今後の活動に活かせるよう工夫したい。

【今後に向けて】

シティセールス（プロモーション）の本来の目的は「蓮田市の社会認知を高め」「市民の蓮田への愛着や誇りを高める」ことで「定住人口、交流・移住人口の増加」や「蓮田産品・産業の活性化」につなげることです。市としてシティセールス計画をきちんと策定し、目標を決め、蓮田が外に売り、発信できる強みとなりうる「プロダクト」を全市挙げて創っていく必要があります。この具体化についてしっかり当局と議論していきます。

次に「やった気になっているけど人々に伝わっていないシティセールス」と、なかなか蓮田で手がつかない「民間財源や知恵の活用」を取り上げました。

こちらは「今後に向けての問題提起」を行えたかなと思います。

3.PFI (Private Finance Initiative : 民間資金等活用事業)

PFI(Private Finance Initiative)とは、民間活力を活用・導入して質の高い公共サービスを実現することを目的として国が強く推進している手法です。民間の資金調達や事業運営方法を使うことで公営側の費用を縮減したり平準化することが可能になり、市民への予算配分の選択肢を広げるなどのメリットが生まれます。しかし蓮田市ではPFIに関する議論がほとんど進んでおらず、当面の事業への積極的活用の姿勢も見られないことから、今後に向けた市の姿勢と考え方を糺すために質問を行いました。

質問

1. PPP/PFIについて蓮田市での導入・検討状況は。
2. 今後の市の事業においてPFIを活用する考えはあるか。メリット・リスクをどう考えるか。積極的に活用を検討すべきではないか。

答弁

1. PFIの導入実績はない。PPPでは駐車場や学童保育所での指定管理者の導入を行っている。
2. PFIは、施設完成後に市は事業主に対して建設、運営、維持管理の費用を毎年支払うことになる。失敗事例もあり、将来を見据え慎重な対応が必要と考えている。今後公共施設等において構想段階から導入を検討する場合はプロジェクト方式等今後検討していくことはあり得る。

【今後に向けて】

全国で多くの自治体が国の方針に沿って導入を検討しているのに比べ、蓮田市では市長答弁も含めPFIについて後ろ向きです。今後市としてPFIを積極的に活用していく方針と風土を醸成する活動を強化していきます。

